滋賀県立彦根工業高等学校

| 整理番号 | 22国－101 |
|---|---|

| 教科名 | 国語　　科 | 科目名 | 現代の国語<br>■必修　□選択 | 学年 | 1　年 | 単位数 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 使用教科書<br>副教材　等 | 高等学校　現代の国語（第一学習社） | 使用教室 | ＨＲ教室 |
|---|---|---|---|

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 学習の目標 | | | | 実社会に必要な国語の知識・技能を身につけ、論理的かつ想像力豊かに他者と伝え合う力を高め、言葉の持つ価値への認識を深めながら、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。 |
| 評価 | 評価法 | | | 興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。<br>■定期考査　■小テスト　■ノート　■振り返りシート　□作品<br>■パフォーマンス課題（プレゼンテーション・小論文・レポート・ディベート・自主学習ノート）<br>□その他　（　　） |
| | 評価観点の趣旨 | a | 知識・技能 | 実社会に必要な国語の知識や技能を身につけ、活用することができている。 |
| | | b | 思考・判断・表現 | 論理的に考え、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、深く共感したり豊かに想像したりする力を身につけている。 |
| | | c | 主体的に学習に取り組む態度 | 言葉の持つ価値への認識を深めると共に、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。 |
| | 上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評点（１～10の10段階）にまとめます。 | | | |

| 学期 | 月 | 学習項目・単元 | 学習内容・ねらい | 評価方法<br>項目　a・b・c |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4<br>5<br>6<br>7 | 【評論文】<br>『「生きもの」として生きる』<br>【文章比較】<br>『法律改正に関わる文章を読み比べる』<br>【話して伝える】<br>『話し方の工夫』 | 【評論文】優れた評論文を読み、さまざまな考えに触れる。また、論理的な文章を読み解くことによって文章の組み立てや展開の仕方を習得する。【書くこと】【読むこと】<br>【文章比較】異なる形式で書かれた複数の文章を読み、その情報を相互に関連づけながら解釈しまとめる力を習得する。【書くこと】【読むこと】<br>【話して伝える】自分の考えが的確に伝わるように、話(文章)の構成や展開を工夫する方法を学ぶ。【話すこと】【聞くこと】 | ■定期考査　a b<br>■小テスト　a<br>■ノート　b c<br>■振り返りｼｰﾄ　b c<br>□作品<br>■ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題　b c<br>□その他<br>（　　） |
| 2 | 9<br>10<br>11<br>12 | 【評論文】<br>『水の東西』<br>【話して伝える】<br>『待遇表現』<br>【書いて伝える】<br>『書き方の基礎レッスン』 | 【評論文】優れた評論文を読み、さまざまな考えに触れる。また、論理的な文章を読み解くことによって文章の組み立てや展開の仕方を習得する。【書くこと】【読むこと】<br>【話して伝える】自分の考えが的確に伝わるように、話(文章)の構成や展開を工夫する方法を学ぶ。【話すこと】【聞くこと】【書くこと】<br>【書いて伝える】表記・表現の基本的なルールを理解し、自分の考えが的確に伝わるよう工夫する方法を学ぶ。【書くこと】 | ■定期考査　a b<br>■小テスト　a<br>■ノート　b c<br>■振り返りｼｰﾄ　b c<br>□作品<br>■ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題　b c<br>□その他<br>（　　） |
| 3 | 1<br>2<br>3 | 【評論文】<br>『「文化」としての科学』<br>【資料比較】<br>『日本の労働問題に関わる資料を読み比べる』<br>【話して伝える】<br>『論理的な表現』 | 【評論文】優れた評論文を読み、さまざまな考えに触れる。また、論理的な文章を読み解くことによって文章の組み立てや展開の仕方を習得する。【書くこと】【読むこと】<br>【資料比較】異なる形式で書かれた複数の資料を読み、その情報を相互に関連づけながら解釈しまとめる力を習得する。【書くこと】【読むこと】<br>【話して伝える】自分の考えが的確に伝わるように、話(文章)の構成や展開を工夫する方法を学ぶ。【話すこと】【聞くこと】 | ■定期考査　a b<br>■小テスト　a<br>■ノート　b c<br>■振り返りｼｰﾄ　b c<br>□作品<br>■ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題　b c<br>□その他<br>（　　） |

担当者からのメッセージ（学習方法など）

定期考査はもちろんのこと、普段の授業の中で行う小テストや
授業内での課題(提出物)にしっかりと取り組みましょう。

滋賀県立彦根工業高等学校

| 整理番号 | 22国－102 |
|---|---|

| 教科名 | 国語　　科 | 科目名 | 言語文化<br>■必修　□選択 | 学年 | 1　年 | 単位数 | 2 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|

| 使用教科書<br>副教材　等 | 高等学校　言語文化(第一学習社) | 使用教室 | ＨＲ教室 |
|---|---|---|---|

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 学習の目標 | | | | 社会生活に必要な国語の知識・技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深め、論理的かつ想像力豊かに他者と伝え合う力を高め、言葉の持つ価値への認識を深めながら、言葉を通して他者や社会と関わろうとする態度を養う。 |
| 評価 | 評価法 | | | 興味関心、学習意欲、授業態度と合わせて、下記項目で評価します。<br>■定期考査　■小テスト　■ノート　■振り返りシート　□作品<br>■パフォーマンス課題（プレゼンテーション・小論文・レポート・ディベート・自主学習ノート）<br>□その他　（　　） |
| | 評価観点の趣旨 | a | 知識・技能 | 社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけ、我が国の言語文化に対する理解を深めそれを活用することができている。 |
| | | b | 思考・判断・表現 | 論理的に考え、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、深く共感したり豊かに想像したりする力を身につけている。 |
| | | c | 主体的に学習に取り組む態度 | 言葉の持つ価値への認識を深めると共に、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養っている。 |
| | 上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、観点別学習状況の評価（A、B、Cの３段階）および評点（１～10の10段階）にまとめます。 | | | |

| 学期 | 月 | 学習項目・単元 | 学習内容・ねらい | 評価方法<br>項目　a・b・c |
|---|---|---|---|---|
| 1 | 4<br>5<br>6<br>7 | 【古文】<br>『児のそら寝』<br>【近現代の小説】<br>『羅生門』 | 【古文】文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える方法を理解する。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。【読むこと】<br>【近現代の小説】古典作品から影響を受けた近現代の小説があることを知り、その表現から我が国の言語文化に対する理解を深める。【読むこと】【書くこと】 | ■定期考査　a b<br>■小テスト　a<br>■ノート　b c<br>■振り返りｼｰﾄ　b c<br>□作品<br>■ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題　b c<br>□その他<br>（　　） |
| 2 | 9<br>10<br>11<br>12 | 【古文】<br>『伊勢物語』<br>【漢文】<br>『漢文の学習』<br>『訓点に親しむ』<br>【現代の語彙】<br>『故事成語』 | 【古文】文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える方法を理解する。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。【読むこと】<br>【漢文】我が国の文化と外国の文化との関係について理解し、広いものの見方を学ぶ。訓読の決まりを理解する。【読むこと】<br>【現代の語彙】古典の言葉と現代の言葉のつながりについて理解することで、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。【読むこと】【書くこと】 | □定期考査　a b<br>■小テスト　a<br>■ノート　b c<br>■振り返りｼｰﾄ　b c<br>□作品<br>■ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題　b c<br>□その他<br>（　　） |
| 3 | 1<br>2<br>3 | 【漢文】<br>『先従隗始』<br>【古文】<br>『徒然草』 | 【古文】文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に捉える方法を理解する。作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を理解する。【読むこと】<br>【漢文】我が国の文化と外国の文化との関係について理解し、広いものの見方を学ぶ。訓読の決まりを理解する。【読むこと】 | ■定期考査　a b<br>■小テスト　a<br>■ノート　b c<br>■振り返りｼｰﾄ　b c<br>□作品<br>■ﾊﾟﾌｫｰﾏﾝｽ課題　b c<br>□その他<br>（　　） |

担当者からのメッセージ（学習方法など）

定期考査はもちろんのこと、普段の授業の中で行う小テストや
授業内での課題(提出物)にしっかりと取り組みましょう。

滋賀県立彦根工業高等学校

| 整理番号 | 22国-201 |
|---|---|

| 教科名 | 国　語　科 | 科目名 | 現代文Ｂ<br>■必修　□選択 | 学年 | ２　年 | 単位数 | ２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書等 | 高等学校　改訂版　標準現代文Ｂ(第一学習社) | | | 使用教室 | ＨＲ教室<br>選択教室 | | |

| | |
|---|---|
| 目標 | 優れた近現代の文章を読むことを通して、総合的な国語力を養成し、思考力・判断力を身につけさせる。また、身につけた国語力を使い、自分の考えを的確に表現し、他者の意見にも耳を傾け理解する力を養う。 |

| 内容 | | |
|---|---|---|
| 内容 | ６月<br>７月 | ○評論文を読む<br>優れた評論文を読み、さまざまな考えに触れる。また、論理的な文章を読み解くことによって文章の組み立てや展開の仕方を習得する。 |
| | ７月<br>８月 | ○随筆・随想<br>感受性豊かな文章に触れ、現在・過去・未来、自身・他者に対して様々な視点や考え方があることを理解する。 |
| | ９月<br>１０月<br>１１月<br>１２月<br>１月 | ○近現代小説の学習<br>・小説の中に描かれる登場人物の心理や風物等の情景描写を読みとる。<br>・題材として扱われている事柄について興味、関心を持つ。<br>・小説に使われている表現技法を理解する。<br>・漢字や語句等、基本的な知識を身につける。 |
| | ２月<br>３月 | ○評論文を読む<br>論理的な文章を読解する力をさらに伸ばし、論理がどのように展開されていくのか、何のための論理なのかを把握できるようにする。 |
| | ６月～12月 | ○作文・小論文に適宜取り組む。一般常識を身につける。 |
| | ６月～３月 | ○年間を通して漢字・語彙・言葉に関連したプリントを学習します。 |

| 評価の観点 | | |
|---|---|---|
| 評価の観点 | 関心・意欲・態度 | 文学作品に関心を持ち、進んで作品の世界に触れようとしているか。自分の考えを意欲的に表現しようとしているか。 |
| | 話す・聞く能力 | 作品を読み、筆者の考えを正しく読み取った上で、自分の考えをまとめて発表し、他者の考えを聞くことができるか。 |
| | 書く能力 | 評論文を学習する中で、要約文の書き方を理解し書けるか。また自らの考えを構成を意識して書くことができるか。 |
| | 読む能力 | 短歌・俳句・詩の韻文及び小説・随筆・評論文を正しく理解し、鑑賞することができるか。 |
| | 知識・理解 | 漢字・慣用句の意味や用法を正しく理解しているか。比喩法等の修辞法を十分に理解しているか。また、基礎的な文学史について理解しているか。 |

| 評価方法 | | | | 備考 | |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価方法 | ■興味関心 | ■学習意欲 | ■授業態度 | 備考 | |
| | ■出席状況 | ■提出物 | □作品 | | |
| | ■定期考査 | ■小テスト | □技術・技能 | | |
| | □その他 | | | | |

滋賀県立彦根工業高等学校

| 整理番号 | 22国-301 |
|---|---|

| 教科名 | 国　語　科 | 科目名 | 現代文Ｂ<br>■必修　□選択 | 学年 | ３　年 | 単位数 | ２ |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書等 | 高等学校　改訂版　標準現代文Ｂ(第一学習社) | | | 使用教室 | ＨＲ教室 | | |

| | | |
|---|---|---|
| 目標 | 教科書では、優れた現代の文章を読むことを通して、「読む・理解する・表現する・書く」の総合的な国語力の伸長を図る。プリント学習では進路決定に必要な基礎的な国語力を身に付ける。 | |
| 内容 | ４月<br>５月<br>６月<br>７月 | ○評論文を読む<br>論理的な文章を精読して、<br>読解力・表現力を修得する。 |
| | ７月<br>８月 | ○副教材＋プリント学習<br>１　漢字の読み書き　　２　ことわざ・慣用句の理解<br>３　有名短歌・俳句の鑑賞と理解　　４　常識的な文学史的知識の理解<br>５　敬語の確認 |
| | ９月<br>９月<br>１０月<br>１１月<br>１２月 | ○進路に関した作文の練習<br>志望理由・高校生活を振り返って・社会人になるにあたって<br>高校時代に打ち込んだこと・会社でやってみたいこと・大学・専門学校で学びたいこと<br>○副教材＋プリント学習<br>社会常識・一般常識として手紙の書き方・葉書の書き方を学習する。 |
| | １月 | ○副教材＋プリント学習<br>卒業を目指しての国語常識の総復習。 |

| | | |
|---|---|---|
| 評価の観点 | 関心・意欲・態度 | 国語学習及び、評論文等の文学作品に対して関心を持ち、意欲的に取り組もうとしているか。 |
| | 話す・聞く能力 | 自分の考えをまとめてわかりやすく発表したり、他者の考えに耳を傾けて感想を述べたりすることができるか。 |
| | 書く能力 | 進路決定に重要な作文や小論文を練習する中で、身につけた国語力を使って自分の考えを的確に表現し、書き記すことができるか。 |
| | 読む能力 | 文学作品だけでなく、様々な国語の問題の意図を正しく読み、理解することができるか。 |
| | 知識・理解 | 漢字・慣用句の意味や用法を正しく理解して使えるか。また短歌や俳句、文学史について理解し身についているか。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 評価方法 | ■興味関心 | ■学習意欲 | ■授業態度 | 備考 | |
| | ■出席状況 | ■提出物 | □作品 | | |
| | ■定期考査 | ■小テスト | □技術・技能 | | |
| | □その他 | | | | |